

農業と科学

1980
1

CHISSO-ASAHI FERTILIZER CO., LTD.



時代の変化に対応しつつ

日本農業の発展に寄与

チッソ旭肥料株式会社
常務取締役

堀川 浩生

あけましておめでとうございます。年頭にあたり、皆様様に、この年が佳年でありますようお祈りするとともに、新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は「農業と科学」をご愛読頂き、また機に依りて有益なご助言、ご批判を賜わりまして、真に有難うございます。誌上を借り、心より御礼申し上げます。

本年は1980年代の幕あきとなりますが、石油フロート制ともいふべき状態に入ったことにより、「原油1バレル30ドル」時代を迎え、厳しい先行きが予想されます。産油国は資源保護を強める意向であり、海外原油に依存する日本経済は、エネルギー資源の節約に心掛けるが、代替エネルギーの開発を急がなければなりません。55年度の実質経済成長率は、原油価格の大巾引き上げの影響と公共事業の圧縮などから、4.8% (54年度実績見込み6.0%) に減速されました。

このような経済環境のなかにあつて、日本の農業も、今までに経験したことのない重大な課題を抱えながら、厳しい局面に立たされております。すなわち、ほとんどの農産物の需要は伸びが停滞しはじめ、多くの作目に過剰を生じております。

とりわけ米につきましては、53年度より進行中の水田利用再篇対策にもかかわらず、需要バランスが改善されず、需給計画の再検討=転作の強化が打ち出されました。古来、農業は立国の基であり、その安定なくして国の発展はあり得ないといわれております。どうすれば麦・大豆・飼料作物等への転換を円滑に進め、農産物の総合的な自給力の向上を期することが出来るか、また如何にすれば、農産物コストの低減を果せるか等、構造的な問題の解決に、衆智を結集しなければなりません。農林水産省は、将来の農政ヴィジョンを明らかにするため、農政の見直しを進めておりますが、日本農業の将来に明るい

展望を切り開き、農業関係者に希望と勇気を与えるような、具体的政策を確立して欲しいと考えます。

当社は、肥料を通じて農業の発展にいささかでもお役に立つことを念願として、良い肥料を安く供給するよう努力して参りました。また近年、施肥の合理化、省力を目的とする「コーティング肥料」を開発し、市場の開拓に注力して参りました。おかげ様で、関係各位より高い評価を賜わり、ユニークな肥料として普及の度を早めております。

今後も、多年に亘って蓄積された技術力を駆使して、日本農業の難問解決の一助となるよう、新肥料の開発、栽培技術の研究に格段の努力を重ねる所存でございます。どうか、本年もよろしくご指導、ご鞭撻下さいませよう重ねてお願い致します。

皆様のご多幸とご繁栄をお祈りして、新春のご挨拶といたします。

<55年 新年号目次>

- § 時代の変化に対応しつつ
日本農業の発展に寄与…………… (1)
チッソ旭肥料株式会社 常務取締役 堀川 浩生
- § 大豆多収への挑戦…<その3>…………… (2)
大豆多収と根粒…… (その1)……………
東北農業試験場環境部 土壤肥料第2研究室 金野 隆光
- § 韓国の稲作を見て…………… (6)
全国農業協同組合連合会 技術顧問 黒川 計
- § タケノコの肥培について…………… (7)
福岡県農業試験場 造林科研究員 野中 重之
- <あとがき>…………… (8)